

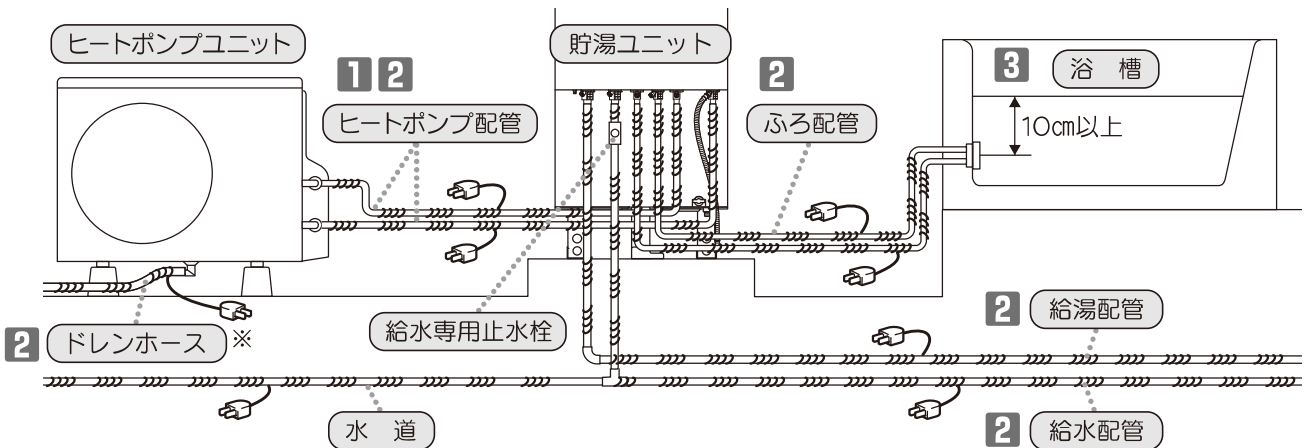
冬期の凍結予防について

- 冬期は暖かい地域でも、配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。お買い上げの販売店または工事店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

⚠ 注意

- 凍結のおそれがあるときは、電源を切らない
配管が凍結し、水漏れの原因になることがあります。
- 配管の保温工事、不凍結水栓、凍結防止ヒータなど凍結防止対策を確認する
正しく工事されていないと配管が破損して水漏れややけどの原因になることがあります。販売店（工事店）にご確認ください。

※図は一般地向けで説明しています。
寒冷地向けに、ドレンホースは取り付けできません。



ヒートポンプ配管の凍結予防

1 電源を入れたままにしておく。

- 外気温が約3℃以下になると、自動でヒートポンプ配管に水を循環させます。また、外気温がさらに低いときには、ヒートポンプユニットが運転する場合があります。

凍結防止ヒータを使う

2 凍結防止ヒータを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込む。

- 凍結防止ヒータを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。

不凍結水栓により給水・給湯配管の凍結予防をおこなう場合

⚠ 警告

- お湯を使うときは、お湯の温度を確認する
入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確かめないとやけどの原因となります。

— 不凍結水栓をご使用になる地域のお客様へ —

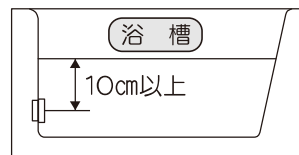
- 不凍結水栓で水抜きをした翌日の給湯は、給水・給湯配管の水が抜けているため、お湯・シャワーが一時的に途切れたり、湯温が変動する場合があります。

冬期の凍結予防について

ふろ配管の凍結予防（おふろの残り湯循環）

3 入浴後、おふろのお湯を排水せず残しておく。

- 循環ポンプが凍結するおそれのある気温になると、循環ポンプが自動的に運転して凍結を予防します。凍結のおそれのあるときは、おふろに浴槽循環口中心より10cm以上水を残して、循環ポンプが空運転しないよう注意してください。
- 凍結するおそれのある地域では、凍結防止ヒータで凍結予防もおこなってください。
- 凍結予防運転中はリモコンに「凍結予防」（浴室リモコンの場合は「❄」）を表示します。



■台所リモコン画面



■浴室リモコン画面



お知らせ

- 「凍結予防」（❄）表示中は、ふろ配管の冷めたお湯がおふろに出ることがあります。
- おふろの残り湯が少ないときは、「凍結予防」（❄）表示中に浴槽循環口からボコボコと音がしたり、水が出たりすることがありますが、異常ではありません。

特に寒さが厳しいときの凍結予防

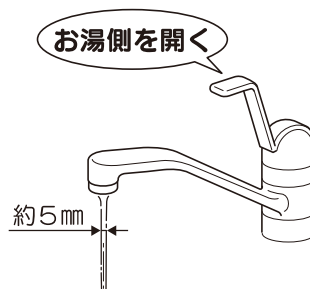
4 蛇口の通水による凍結予防をおこなう。

- 給湯温度を「水（表示は --°C）」に設定し、蛇口のお湯側を開き、1分間に約400mlの水（太さ約5mm）を流したままにしてください。（操作方法は取扱説明書 操作編「お湯・シャワーを使う」をご確認ください。）

■台所リモコン画面



■浴室リモコン画面



お願い

- 寒さが厳しいときは、機器の凍結予防動作のみでは配管の凍結は防げませんので、必ずすべての配管に保温材を巻くなどして凍結予防の処置をしてください。（特にふろ配管は保温材が巻かれていない可能性があるのご注意ください。）また、貯湯ユニットや浴槽循環口との接続部についても、凍結のおそれがありますので必ず保温材を巻いてください。

実際に凍結してしまったら

- 下記の症状が発生した場合、凍結の可能性があります。

- ・蛇口からお湯がでない。
- ・ふろ湯はりができない。
- ・リモコンにエラー（E14）が表示された。

■台所リモコン画面



■浴室リモコン画面



対処方法

- 気温の上昇により自然に解凍するまで待つ。
※給湯配管にお湯をかけて解凍すると、配管やバルブの破損の原因になるおそれがあります。

お願い

- 対処方法にて改善しない場合は、給水専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。（→取扱説明書 操作編「故障かなと思ったら」を参照）
- 蛇口からお湯が出るようになったら、機器や配管から水漏れなどがないか確認してからご使用ください。

長期間お湯を使用しないとき

水抜きをする（16日間以上使用しないとき）

- 外気温が0℃以下になるような冬期は、排水栓が凍結して排水できない場合があります。凍結している場合は無理に操作せず、解凍してから排水してください。

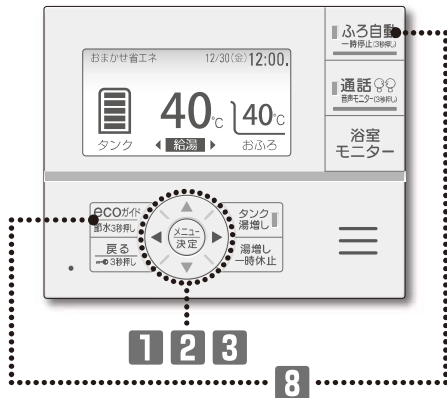
警告

- 排水時は熱湯が出ることもあるので、お湯に触らない
やけどの原因となります。
- 逃し弁操作時は、内部の配管に触れない
やけどの原因となります。
- 漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない
感電の原因となります。

注意

- 長期間使用しないときは、機器の水抜きを行う
長期間使用しないと水質が変化し、飲むと健康を害する原因になることがあります。
- 冬期、漏電しゃ断器を「OFF」にする場合は、機器の水抜きを行う
満水のまま漏電しゃ断器を「OFF」にすると、配管が凍結し水漏れや故障の原因になることがあります。
- お手入れや点検の後は、漏電しゃ断器と逃し弁のカバーを閉じる
雨やごみが入ると漏電による火災や感電の原因になることがあります。

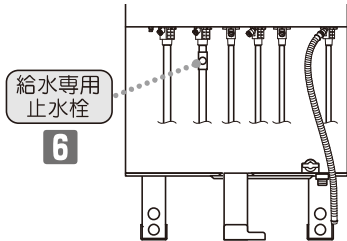
■台所・増設リモコン（図は台所リモコン）



■湯水混合栓



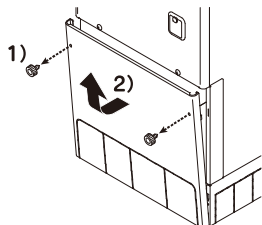
■貯湯ユニット（図は370Lタイプ）



脚カバー（別売品）を装着している場合は、カバーをはずしてください。
（カバーの端面で手を切らないように注意してください。）

【はずし方】

- 1) カバーを止めているネジをはずす。
- 2) カバーを矢印方向に動かしながらツメをはずす。



1) [メニュー決定] を押して「タンク」を選び [メニュー決定] を押す。

- 「タンクメニュー」で「休止設定」を選びます。

2) ▲▼◀▶で「休止日」を選び [メニュー決定] を押す。

- 休止日は水抜きする日を選んでください。

3) 「使用再開日」が水抜きする翌日になっていることを確認し、[メニュー決定] を押す。

- 通常画面に「休止中（再開日：○/○）」が表示されます。

4) 湯水混合栓の湯側を全開にして、貯湯ユニット内をほぼ水の状態にする。

- 貯湯ユニットの熱湯を下水に流さないために必要な操作です。

5) お湯がぬるくなったら、湯水混合栓を閉じる。

6) 給水専用止水栓を閉じる。

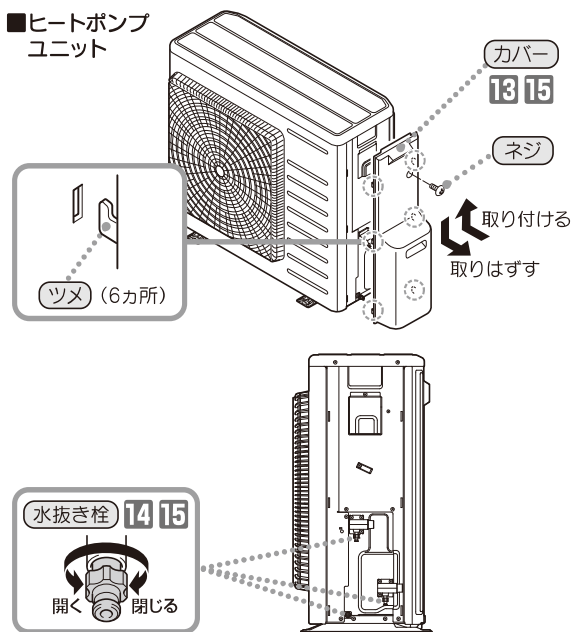
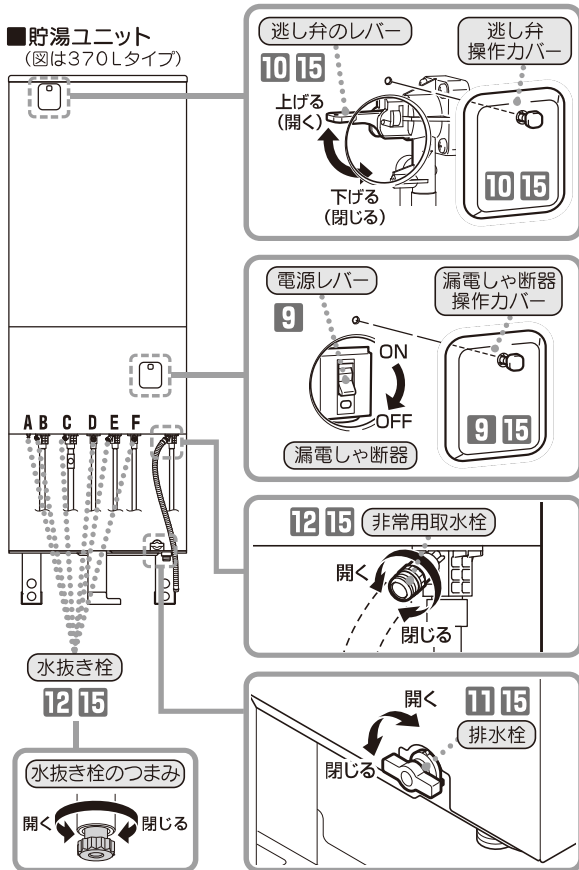
7) おふろの排水栓を抜く。

8) [ECOが停水3秒押し] と [ふろ自動一時停止3秒押し] を同時に5秒以上長押しする。

- 「水抜き中」が表示され、浴槽循環口から水が出ます。
（解除する場合は [戻る 3秒押し] を押します。）

〈以下次ページに続く〉

長期間お湯を使用しないとき



9 「水抜き中」が表示されてから、約10秒以上たったら、漏電しや断器操作カバーをはずし、漏電しや断器の電源レバーを「OFF」にする。

10 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる。

11 貯湯ユニットの排水栓を開く。
※排水が終わるまでに40～75分かかります。

12 排水が終わったら貯湯ユニットの水抜き栓(A～F、6カ所)と非常用取水栓を開く。
(必要な場合はバケツ等で水を受けてください。)

13 ヒートポンプユニットのカバーを止めているネジをはずし、下へスライドさせツメ(6カ所)をはずしカバーを取りはずす。
●お手持ちのプラスドライバーをご使用ください。
●必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。

14 ヒートポンプユニットの水抜き栓(3カ所)を開き、各水抜き栓からの排水を確認する。
※排水が終わるまでに約20分かかります。

15 排水が終わったら、逃し弁のレバーを下げてすべての栓を閉じ、操作カバーおよびヒートポンプユニットのカバーを元どおりに戻す。

お願い

- 凍結するおそれのある地域でご使用の場合は、お買い上げの販売店(工事店)に連絡し、機器の減圧弁の水抜き作業を依頼してください。

お知らせ

- 電源をOFFにした場合、過去のお湯の使用量がリセットされる場合があります。